

養殖池への鳥類侵入防止技術の開発

【特徴】
 一般的に行われている鳥類の侵入防止技術よりも簡便で効果の高い防止技術を開発した。

【活用が見込まれる分野】
 農林水産物の鳥獣類被害対策

実用化実績 : 有
 現 状 : 実用化段階

【特許】
 特になし

【内 容】

○一般的な方法

養殖池の上面全体を目の細かいネットで全面を覆う方法が一般的。堅牢な支柱が必要な他、ネットの存在で給餌作業などの障害になりやすい。

○本手法

鳥類に見えにくい黒色防鳥糸を弾力のあるポールに結びつけ一定間隔で池の上面及び側面に張るだけで飛来防止が可能。池の内部へ立ち入ることが可能となり、給餌等の作業性が向上するメリットがある。

○防止効果

・従来実施しているテグス(ナイロン製の釣り糸)による防止方法(図左)と黒糸を張った防止方法(図右)の効果を無人定点カメラにより撮影される鳥類数で評価した。

・従来法は観察期間中ほぼ毎日鳥類が飛来したが、本技術を用いた方法では黒色防鳥糸を設置した初期以外鳥類は全く観察されなかった。

